

核構造・崩壊データ専門部会
核構造データWGサブグループ会合議事録

日 時 : 昭和55年 8 月 4 日 (月)
場 所 : 原研東海研究所 VdG 特研
出席者 : 橋爪(理研), 田村(原研)

検討資料 : A = 127 についてのレフェリーの結果

議題および作業

1. A = 127 ENSDFのレフェリー結果の検討

A = 127 の核構造データを ENSDF にまとめ、本年 2 月に NSDD ネットワークのエディターに提出した。また 3 月に橋爪委員が ORNL でレビューと改訂を行った。これに対するレフェリーの結果が送られてきた。

レフェリー結果の主なものはつぎのとおりであった。

(1) 実験値の収録

Q 値, Normalization, E_{β} , I_{β} 内部変換電子線, 半減期などに関する実験値がある場合はデータまたはコメントとしてできるだけ完全に収録する。

(2) Normalization その他のデータに誤差をつける。

(3) Normalization の値の有効数字が多すぎる。

(4) 半減期に関する 2 ~ 3 の文献の参照が必要である。

(5) スピン・パリティ, 多重度についてのコメント不足している。

(6) 内部変換係数, $\log ft$ 値の再計算を必要とするものがある。

2. 改訂の作業

上述の問題点の約半分が本日中に解決した。再計算を要する部分はデータを変更し, 計算機にかける予定である。今週中にすべての問題点の解決が見出される予定である。これらの結果は 8 月 15 日頃までにまとめてデータを改訂し, エディターに再提出する。

以 上